

各都道府県消防防災主管部（局）長 殿

消防庁救急企画室長  
（公印省略）

## 救急業務に携わる職員を対象とした教育研修の推進について

救急業務に携わる職員を対象とした教育研修については、「平成 26 年度救急業務のあり方に関する検討会」において「救急隊員ワーキンググループ」及び「通信指令員ワーキンググループ」を設置し検討したところであり、その内容については、「平成 26 年度救急業務のあり方に関する検討会報告書（DVD 付属）」として、貴職を通じ 4 月に各消防本部に対し周知しているところです。

このたび、救急業務に携わる職員を対象とした教育研修が更に推進されるよう、下記のとおり取りまとめましたので、貴職におかれては、救急業務に携わる職員が、さらに質の高い救急業務を遂行できるよう、貴都道府県内の都道府県メディカルコントロール協議会、地域メディカルコントロール協議会及び消防本部に対して、この旨を周知されますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 37 条の規定に基づく助言として発出するものであるとともに、厚生労働省も事前に了知していることを申し添えます。

### 記

#### 1 救急隊員教育用動画教材の活用について

##### (1) 目的

救急隊員教育の全国展開と一定の質を担保した教育の実現

##### (2) 対象者

- ア 救急救命士以外の救急隊員のうち、特に新任と位置づけられる隊員
- イ 救急救命士と連携する隊員
- ウ その他救急業務に関連する職員

##### (3) 使用教材

平成 26 年度救急業務のあり方に関する検討会報告書 巻末 DVD-ROM

##### (4) 実施項目

| チャプター | 内 容                          | 収録時間    |
|-------|------------------------------|---------|
| 1     | 喉頭展開・異物除去要領                  | 10m40s  |
| 2     | 気管挿管の補助要領                    | 14m55s  |
| 3     | 心肺機能停止前の静脈路確保及びブドウ糖溶液投与の補助要領 | 15m 3 s |
| 4     | 接遇（講義編）                      | 18m 9 s |
| 4-1   | 接遇（シナリオ編）                    | 9 m18s  |

(5) 構成内容

ア 講義項目は、スライドに基づくナレーション形式で進行し、接遇の必要性や基本的事項、留意点等を解説しています。また、ケーススタディを取り入れていますので、一時停止機能を用いることで、救急隊員間でのディスカッションを行いながら学習することができます。

イ 講義項目以外は、想定シナリオに基づくストーリー形式で進行し、救急隊による傷病者の観察、本人や家族へのインフォームドコンセント、応急処置や特定行為等の手技と連携等について解説しています。

ウ 特にポイントとなる部分は、字幕による解説で強調されるとともに、各チャプターの末尾で振り返ることができます。

(6) 今後の取扱

本動画教材を素材として、地域のメディカルコントロール協議会の中で消防本部が共同する等によってプロトコルを反映した独自の動画教材を作成したり、医師等が指導する各種研修会や講習会における映像等を併せて教材として取り扱うことで、より充実した教育教材が完成するものと考えられます。

今後、消防庁においても本動画教材の「e-カレッジ」への掲載を予定していますので、ご活用ください。

2 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」を用いた研修について

(1) 目的

ア 救急活動に必要な情報を的確に聴取するための知識・技能の習得

イ 傷病者の緊急度・重症度判断のための知識・技能の習得

ウ 通報者等に対する口頭指導実施のための知識・技能の習得

エ 適切な病院選定に必要な知識・技能の習得

(2) 内容

|            | 具体的項目            | 到達目標（具体的内容）  |
|------------|------------------|--|
| 救急指令管制実務教育 | 救急業務における通信指令員の役割 | 通報から救急隊の到着までの対応の重要性「救命の連鎖」                           |
|            | 救急業務の現状          | 救急搬送件数の推移と将来推計、ウツタイン統計                               |
|            | 救急現場活動           | 指令課から医療機関到着までの救急現場活動、救急救命士が行う処置の範囲、救急隊員が行う処置の範囲      |
|            | メディカルコントロール体制    | オンラインMC とオフラインMC                                     |
|            | 救急医療体制           | 救命救急センター、その他の救急医療機関、改正消防法（搬送と受入れの実施基準）に係る地域での運用状況    |
|            | 緊急度・重症度識別        | ドクターカー・ドクターヘリの要請、PA 連携の早期要請のための識別                    |
|            | 救急隊への情報伝達        | 救急隊への適切な情報伝達要領                                       |
|            | 口頭指導要領           | 模擬トレーニング（シミュレーション訓練）                                 |
|            | 救急車同乗実習          | 任意   |
| 医学基礎教育     | 解剖・生理            | 生命維持のメカニズム   |
|            | 心停止に至る病態         | 心筋梗塞、脳血管障害、呼吸器疾患、高エネルギー外傷、アレルギー、窒息（死戦期呼吸、心停止直後のけいれん） |
|            | 心肺蘇生法            | 胸骨圧迫の重要性、人工呼吸の定義など                                   |
|            | AED              | 電気ショック適応・不適応の心電図                                     |
|            | その他の口頭指導対象病態     | 気道異物、出血、熱傷、指趾切断など                                    |

### (3) 時間割と教育時間

#### ア 座学

消防本部の規模や勤務形態を考慮し、項目毎の分割実施が可能なよう、教育時間を30分から90分程度としました。また、日勤日に一括して実施できるように、最低限実施すべき教育を7時間45分程度としました。

| 区分        | 具体的項目            | スライド | 教育時間 |
|-----------|------------------|------|------|
| 確認 知識     | プレテスト (50問程度)    | 問題集  | 60分  |
|           | ポストテスト (100問程度)  | 問題集  | 90分  |
| 管制実務 救急指令 | 救急業務における通信指令員の役割 | 資料1  | 45分  |
|           | 緊急度・重症度の識別       | 資料2  | 45分  |
|           | 口頭指導要領           | 資料3  | 45分  |
| 医学基礎教育    | 解剖・生理            | 資料4  | 45分  |
|           | 心停止に至る病態         | 資料5  | 45分  |
|           | 心肺蘇生法            | 資料6  | 30分  |
|           | AED              | 資料7  | 30分  |
|           | その他の口頭指導対象病態     | 資料8  | 30分  |

合計 7時間45分

#### イ シミュレーション学習

シミュレーションでは、緊急度・重症度識別及び口頭指導について、テーマごとに聴取内容や口頭指導の内容について個別に理解を深める必要があることから、教育時間を分割しています。

さらに、様々な通報内容への対応トレーニングとして、緊急度・重症度の識別及び口頭指導を必要とするシナリオを盛り込んだ、総合教育を実施することとします。

| 区分        | 具体的項目        | スライド | 教育時間   |
|-----------|--------------|------|--------|
| 管制実務 救急指令 | 緊急度・重症度の識別   | 資料9  | 1時間30分 |
|           | 口頭指導要領       | 資料10 | 1時間30分 |
|           | シミュレーション総合教育 | 資料11 | 4時間45分 |

合計 7時間45分

### (4) 指導者

指導的立場でもある経験豊富な救急救命士と通信指令業務の経験が豊富な指令員が相互に協力し、指導にあたるのが望まれます。

また、メディカルコントロールに携わる医師が教育に参画することにより、指令員の医学的な理解が深まるとともに、医師にとっても通信指令業務に対する理解が深まり、事後検証の観点からも有益であると考えられることからメディカルコントロール体制下による教育への協力も望まれます。

### (5) 使用教材

ア 平成26年3月消防庁「通信指令員の救急に係る教育テキスト」

イ 平成26年3月消防庁「緊急度判定プロトコル Ver.1 「119番通報」」

ウ 補助的教材：教育コンテンツ研修スライド

(6) 今後の取扱

上記(1)から(5)で示した内容は、昨年度ワーキンググループにおいて、「教育モデル」として策定されたものです。また、教育効果の検証結果では、指令員の救急に係る知識理解度、実践能力、モチベーション向上等について、有意に作用すると報告されています。このことから、現在指令員の救急に係る教育を実施していない消防本部においては、実施に向けて積極的に検討していただき、実施される際は、本モデルをご活用ください。

(7) 地域特性

メディカルコントロール協議会単位、指令センターの共同運用単位等、地域の実情に応じて、広域的に合同で取り組むことも有効と考えられます。

### 3 添付資料

通信指令員の救急に係る教育「知識確認用問題集」(略)

### 4 使用教材関係

(1) 救急隊員教育用動画

「平成26年度救急業務のあり方に関する検討会報告書」巻末DVD-ROM

(2) 通信指令員の救急に係る教育

ア 平成26年3月消防庁「通信指令員の救急に係る教育テキスト」

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h25/kyukyu\\_arikata/pdf/text.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/kyukyu_arikata/pdf/text.pdf)

イ 平成26年3月消防庁「緊急度判定プロトコル Ver.1 「119番通報」

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h25/kinkyudohantei\\_kensyo/03/119banpr\\_protocolv1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/kinkyudohantei_kensyo/03/119banpr_protocolv1.pdf)

ウ 通信指令員教育補助的教材(教育コンテンツ)研修スライド資料1~11

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h26/kyukyu\\_arikata/tushinshirei/tushinshirei.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h26/kyukyu_arikata/tushinshirei/tushinshirei.html)

エ 通信指令員教育プレテスト及びポストテスト

別添「知識確認用問題集」(略)

### 5 参照資料

(1) 平成25年度救急業務のあり方に関する検討会報告書(平成26年3月)

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h25/kyukyu\\_arikata/pdf/houkokusyo.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/kyukyu_arikata/pdf/houkokusyo.pdf)

(2) 救急業務に携わる職員の生涯教育の指針 Ver.1(平成26年3月)

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h25/kyukyu\\_arikata/pdf/shishin.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/kyukyu_arikata/pdf/shishin.pdf)

(3) 平成26年度救急業務のあり方に関する検討会報告書(平成27年3月)

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h26/kyukyu\\_arikata/02/houkokusyo.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h26/kyukyu_arikata/02/houkokusyo.pdf)

**【お問い合わせ先】**

消防庁救急企画室 上條課長補佐、新田係長、瀧砂事務官  
ワーキンググループ事務局担当 前田係長

電話 03-5253-7529 E-mail [kyukyusuishin@soumu.go.jp](mailto:kyukyusuishin@soumu.go.jp)